

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北陸)	良くなる	百貨店（営業担当）	・8月末に発売のプレミアム付商品券の有効期限が10月末までであり、地元客はほとんど購入すると予想される。購入者がプレミアム付商品券を使う目的で館内に足を運び、消費するのではないかと予想している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・10月をピークに大型の学会や大会の開催による宿泊や宴会がすでに受注済みであり、売上が伸びる。
家計動向関連 (北陸)	やや良くなる	通信会社（営業担当）	・新商品の発売で通常より販売数が増えると思われる。
		商店街（代表者）	・当商店街地区で徐々に大型開発があり、来月オープンするため人通りの増加が見込める。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・近隣に大型アウトレットモールなどの大型商業施設ができたにもかかわらず、来客数はそれほど減少せず影響を受けなかったため、今後2～3か月はプレミアム付商品券などの効果もあり良くなると思う。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・北陸新幹線効果と金沢ブームは継続する。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・夏が終わり学生たちも戻ってきており、その他家族連れの来店客も多くみられ、今後の来客数増に期待したい。
		百貨店（売場主任）	・株価暴落による不安要素はあるものの、8月末に発売されるプレミアム付商品券が消費者の購買意欲を刺激し、消費の裾野拡大につながることを期待する。
		コンビニ（店長）	・現在のやや良くなっている状態が数か月続くのではないかと考えている。当店は山岳観光地に近いので、休日の好天時には観光地を訪れる客にたくさん利用してもらえる。去年の5割増し程度で増えていると感じている。冬までこの状態が続くかは疑問だが、このままの状態が続いてほしいものである。
		乗用車販売店（役員）	・秋に向けて基幹車種のマイナーチェンジがあり、年末には量販車種のモデルチェンジもあるので、年末から年度末にかけてはかなり業績に寄与するものと考えている。
		高級レストラン（スタッフ）	・9～11月は観光目的の団体予約の受注が、例年と比べて140%近くとなっている。先日から北陸デスティネーションキャンペーンの発表もあり、受注増が見込まれる。
		観光型旅館（経営者）	・昨年は大きな貸切団体があり売上を伸ばすことができたが、今年は大きな団体はない。しかし、北陸新幹線効果で昨年並みの売上確保ができそうである。
		都市型ホテル（役員）	・レストラン部門、宴会部門は前年と同程度と見込まれる。ブライダル部門の減少を宿泊部門で補い、ホテル全体ではやや良くなると見込む。
		通信会社（店舗統括）	・新製品の発売もあり、来客数増が見込める。
		通信会社（役員）	・新規の契約の申込が継続して好調に獲得できている。今後、年末の商戦期に向けては好調を維持していくと考える。
		住宅販売会社（従業員）	・昨年と比較して工事件数も金額的にも増えており、着工に遅れが生じてきた。また、客との打ち合わせ件数も増えており、今後の契約予定も増えている。時期的にもイベント、さらには見込み客が増える時期であり契約数、金額共に増えると思う。
		住宅販売会社（従業員）	・毎年、年度末にしゅん工し入居したい客がこの時期から増えてくるので期待できる。
		家計動向関連 (北陸)	変わらない
商店街（代表者）	・建設業に活気が出てきているようで、その波及効果が購買力に結びつけば良いが、貧富の差が顕著に表れてきており、節約せざるをえない人たちは節約を強いられ、裕福な人たちも無駄遣いはせず将来に備える傾向が今後も続きそうだ。		
一般小売店〔事務用品〕（店員）	・活気づくような商材があまりなく、しばらくこの調子が続く気がする。		
百貨店（営業担当）	・9月以降、秋物から冬物にファッションのサイクルが変わる。また、食材についても冬の食材といったように季節が変わる。こうした分野では新しくできた商業施設で消費が行われ、既存店ではこの秋冬の半年間についてもまだ厳しい状態が続くのではないかと気がしている。		
スーパー（店長）	・今後は台風などの影響で農産物などの相場が読めない状況であり、出荷減少による高値傾向が起きる可能性もあると考える。		
スーパー（総務担当）	・相変わらず来客数は増加せず、客単価は前年を上回る状況が続いている。		

スーパー（総務担当）	・地域のプレミアム付商品券が販売され一部店舗では売上増につながっているものの、流れとしては変わらないと感じている。
コンビニ（経営者）	・現在、周辺には同業他社のコンビニ店が飽和状態である。この状態が続く限りは現在と変わらないのではと予測している。
衣料品専門店（経営者）	・現状は大型店の開業という環境の大きな変化に振り回されている。とりあえず現状は、売上の減少に耐えているということである。
衣料品専門店（経営者）	・円安と株安が、どんな影響を及ぼすのかわからないが、ガソリン価格の低下、物価上昇の鈍化は消費感情に良い作用をもたらしていると感じている。お金は持っているようであり、どうやって使う気にさせるかである。景気対策だけではないが、政府が景気対策に力を入れているというのを、国民に見せる必要がある。
家電量販店（店長）	・際立つヒット商品もなく、購入時期を検討するケースが見受けられそうである。
家電量販店（店長）	・前年に比べ気温が低く、エアコンなどの季節商材が不振である。直近に大型商業施設のオープンが多く、そちらに出費が流れているのか、趣味し好性の高いデジタル家電の実績を落としている。
乗用車販売店（経営者）	・軽自動車税の増額と消費税増税で高い商品購入には慎重な様子で、積極的な購入はまだないようだ。
乗用車販売店（従業員）	・気温が下がって集客の見込みはあるが、客の購買意欲が感じられない。
自動車備品販売店（従業員）	・県内のタイヤ需要は前年割れが続き、販売実績も前年を下回っているが、その要因がつかめない。買い控え傾向としか考えられず、上向きとなる兆しが見られない。
住関連専門店（店員）	・北陸新幹線の開業で観光産業の活性化の動きは見えるが、県内で相次ぐ大型商業施設のオープンにより客が取られている現状は否めない。業界自体低迷は続くが、消費マインドには浪費の感覚の変化が強く表れているように思える。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・景気が良くなると感じる要因が全くない。
その他小売〔ショッピングセンター〕	・衣料は秋物入荷に合わせて一部動きが良いが、残暑が続くと動向悪化が心配である。また、プレミアム付商品券の使用期限が迫る地域もあり消費停滞が心配である。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・北陸新幹線開業の良い効果、相次ぐ競合店開業による客足の分散、株価や為替、足元の経済指標の乱高下などの波及が、いつまで、どの程度、どの業種に影響を及ぼすかの想定が立てられない。かじ取りが非常に難しい。
一般レストラン（店長）	・9月の大型連休があってもその時に集中するだけで、全体の底上げには期待できない。
スナック（経営者）	・国際的に不安定な要素が見え隠れする状態で、心理的な影響により、その時はやはりマイナスに左右されるかと思う。
観光型旅館（スタッフ）	・北陸新幹線開業後、予約保有は前年に対し大幅に増加しており、その傾向は今後も続くと考えている。
旅行代理店（所長）	・北陸新幹線開業による国内旅行需要が増加していたが落ち着きが見え始め、海外旅行は減少傾向にある。
タクシー運転手	・北陸新幹線効果は絶大で、当面は人出が当地に訪れることから、このまま順調に維持されると思う。
通信会社（営業担当）	・ボーナス商戦を迎えて販売数はやや伸びたものの、低価格、低コストを求める客が多く、景気が上向き傾向がみられない。
通信会社（役員）	・前年度に高止まりしていた解約数が、今年度に入り高速通信回線サービスの提供により減少傾向にある。この傾向は今後も継続するとみており、契約純増数は引き続き増加していくと考えている。
テーマパーク（職員）	・今後の国内の団体予約数をみると、前年よりやや動きが鈍い状況にある。今後、首都圏からの客や海外からの客に増加傾向がみられても、全体としては前年並みの水準で推移するものと予測される。
住宅販売会社（従業員）	・受注面では消費税増税後の大幅な反動による落ち込み分を順調に埋め、回復基調にある。今後、消費税の10%への増税が迫っているという要因の影響は今のところない。ただし、円安などの要因が収支面に及ぼす影響がどのくらいか読めない。
住宅販売会社（従業員）	・リフォームの受注は堅調で事業計画以上の数値を計上できているが、新築及び分譲の受注や土地の動きが少ない。個人消費者の購買意欲の強さが感じられない。

	やや悪くなる	商店街（代表者）	・年内程度は県内にオープンした大型ショッピングセンターの影響を受けるものと思う。また当商店街では、現在再開発工事が1件進行中であり、年内中にはもう1件工事が開始される予定である。この再開発工事の影響を当分の間受けるものと思われる。
		スーパー（統括）	・現状の流れからみると、来客数も買上点数も伸びる要素が見受けられない。また、今後の値上げや野菜の不作で単価が高くなり、買い控えが出てくると思う。
		コンビニ（経営者）	・コーヒーやドーナツなど、新しいカテゴリーの商材には好調に推移しているものもあるが、それだけを買う人が増えており客単価の減少は続いている。また、従業員の雇用状況も悪化しており、コスト増が続いている。そうした状態で、状況は悪化していくと思われる。
		コンビニ（店舗管理）	・プレミアム付商品券の使用期限も過ぎ、現在のような特需景気も収まってしまうことを予想する。
		一般レストラン（統括）	・売場の人手不足と原料のコスト高という課題に対し、売価改定するきっかけ、タイミングがない。結果として利益を圧迫する状況がさらに進むと思われる。
		タクシー運転手	・北陸新幹線が開業して初めての夏休みだったことから県外からたくさんの客が来たが、夏休みが終わってからはどうなるか分からない。
		その他レジャー施設（職員）	・子供の集客シーズンが終わり、次は大人の集客になるが、景気の減速感が強く9月の大型連休があっても、消費につながらないような気がしている。
		美容室（経営者）	・株価が大幅にダウンしているとの報道で消費意欲が減退しそうである。
	悪くなる	-	-
企業 動向 関連  (北陸)	良くなる	建設業（経営者）	・7～8月に受注した地方自治体の工事や、3月に受注した国の工事が施工の真っ最中となり、人手不足状況になる。また、完成工事の増加にしたがって、利益も増えるであろう。
	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・株価や為替の変化もあり先行き不安ではあるが、消費の回復が期待され、それに伴う受注増が期待される。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・国内市場は省エネ補助金は終了したが、円安が継続するために国内生産が戻っている。これにより国内市場は期待できる。
		通信業（営業担当）	・前月に引き続きセキュリティ関連の商品が好調である。マイナンバーが要因と思われる。
		司法書士	・3か月先ではまだ効果は出ていないかもしれないが、空家対策、特定空家対策について、所有者、解体業者、コインパーキング事業者などからの相談があり、将来的に効果が期待される。
変わらない	繊維工業（経営者）	・秋冬商材のマーケット次第だろうと思う。	
	金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の注文の入り具合を見て、そのように思った。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・現在のところ変わりなく引き合い注文が続いている。ただし、足元の中国経済の動向で世界景気が気掛かりである。	
	精密機械器具製造業（経営者）	・残念ながら、現状ではまだ一般小売店において拡販につながらるようなプラス要素は見当たらないため、当面は一進一退で現状の状況が続くと思われる。	
	輸送業（配車担当）	・急激に個人消費が上向くとは思えず、しばらくはこの現状が続くと思われる。	
	金融業（融資担当）	・足元の景況感は悪くないものの、中国動向、特に天津港の事故の影響がどういったところに出てくるかが不明である。	
	金融業（融資担当）	・株式市場は何とか落ち着いていくと思うが、消費者の購買意欲は弱い。景気の浮揚策が必要である。	
	不動産業（経営者）	・現在、業者の情報以外に、個人客や法人客の問い合わせや来社があるということである。	
	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・7月は県内で大型商業施設のオープンが相次ぎ売上は前年を超えたが、8月は前年割れが確実な状況である。業種問わず、チラシの出稿が良くない。	
	やや悪くなる	食料品製造業（役員）	・為替の影響にて高騰している輸入原材料だが、供給元の人件費、経費の上昇から、その対応策として実質値上げの依頼が入ってきている。
プラスチック製品製造業（企画担当）		・中国経済の先行き不透明感からくる世界経済停滞の影響が懸念される。	
建設業（総務担当）		・大都市を除き、地方では受注確保のための低価格受注が目立ち始め、受注環境は徐々に厳しさが増すと見込まれる。	

		税理士（所長）	・全体的に先行きの見通しが暗いというのが、社長方の共通した意見である。中小零細の製造業のエンドユーザーに中国が多かったことがあり、やはり中国不安がある。個人消費も伸び悩んでいる感じがする。この夏のボーナスの時期が過ぎたが、可処分所得ベースでみた場合の給料収入は全体的に上がっている感じがしない。いろいろな面で不安があり、先行きはちょっと厳しいのではないかと思う。
	悪くなる	-	-
雇用 関連  (北陸)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・3か月先までの、単発、短期からの求人引き合い案件の依頼が増えている。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率が1倍を大きく超える状態が、ずっと続いている。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	・期間限定の派遣システムは求職者に好まれない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・正社員雇用の大きな動きがない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人関係のプラス要素はあるものの、広告出稿自体は伸び悩んでおり、身の回りに関して言えば停滞しているといえる。
		職業安定所（職員）	・新規求人、新規求職者の動向からみても、大きく変化するといった様子はない。
		職業安定所（職員）	・景気回復により受注増で人手不足感を感じている事業所がある中で、先行きを不安視している事業所もある。
		民間職業紹介機関（経営者）	・人材紹介のミスマッチと人手不足が急に改善される状況にあるとは思えない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・大手の採用状況が落ち着いたところで、今後、中小の追加募集や秋採用の状況を見て判断したい。
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	-	-	